

現業協だより No.7

自治労福島県職連合現業協議会 2019. 10. 1

分会訪問を実施しました。道路パトの民間委託問題は？

現業協議会は全分会へ職場の実態を把握するためアンケートを実施しました。100名を超える技能労務職員の新たな配置希望があり、職場の実態を知るために職場を訪問しました。分会体制が確立している分会では、職場から分会要求書の提出をお願いし、それ以外の分会は各部会要求書に技能労務職員の新規採用を加筆してもらうようお願いしました。

どの職場も人員不足は深刻で職員が疲弊しており、さらには、技能労務職員が行うべき業務を他の職員が行い、その結果負担が増大していることも分かり、現業協だけの問題ではなくなっています。道路パトロール業務の民間委託化について、現場で実際にパトロール業務に関わっている職員からは、「委託されては私たちも困る」という声しかありませんでした。委託費の試算も各事務所で出していますが、正規職員が作業するよりはるかに高い委託費になっており、何のための委託な

今後の日程

10月 5日（土）県本部学習会

10月 26日（土）現業・公企統一闘争
総決起集会

のか分かりません。道路パトの民間委託問題については、現業協として直営で現体制よりも人数を拡充し、地域にあった作業内容も含めた提言を土木部会と連携し、今年から要求していきたいと考えています。福島県職員連合労働組合のHP内に現業協議会のHPを開設しています。多くの方にお知らせください。

現業協議会の新しい規約が施行しました！

7月6日、郡山市において現業協議会臨時大会を開催し規約の改正案が承認されました。それを受け、全組合員の無記名投票選挙を行い開票の結果改正案は成立し9月から施行しました。これからの運動は労働組合法など様々な法律で付与されている権利を最大限活用し、県民生活の向上を意識した現場からの声を届けていきたいと考えます。

農場管理員採用試験を今年も実施！

2020年4月に採用予定の農場管理員採用試験が開催されました。今後は、業務の継続性を考慮し、退職者を見込んだ前倒し採用と、質の向上に向けた増員が急務となってきます。また、来年4月から導入される会計年度任用職員の配置について、動向を注視し確定交渉時に農業政策が停滞しないよう、口先だけの復興にならないように訴えていきたいと思います。

編集後記

最近、役所が遠くなっている。役所が見えない。といった声を聞きます。住民が望んでいる事と役所が行っていることが乖離しすぎていると思います。全国各地から現場を知っている職員、できる職員が居ない事により住民への負担が大きくなっているのではないのでしょうか？

こんな時代だからこそ、技能労務職員がもっと必要だと思います。

裏面あります→